

平成28年 5月25日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
 代表者名 会長 前川 博



記

事業の名称	地域自主防犯・防災体制強化事業
事業実施前の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・校区内18自治会・町会のうち16の自治会・町内会により13自主防災会が組織化、設立される。 ・うち10自主防災会への資機材配備が完了。
事業実施後の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度新たに設立された綾羽1丁目自主防災会に1次資機材配備を行った。城山、菅原自主防災会への配備は終了した。 ・13自主防災連絡会が主催し、防災フェスティバルを実施。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・池小校区自主防災会・連絡会(13自主防災会が参加)が中心となり新たな試みの防災訓練が実施された。 ・西本町町会に防災会設立の機運が認められる。
今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の参加増を図る目的で、新たな試みで防災フェスティバルを実施し、こども、母親の参加増で初期の目的は達成した。又後日13防災会の会員にアンケートを実施した結果、是(70%)非(30%)であった。しかし当協議会・安全安心のまち部会員からは否定的な意見も出ているので実施内容については検討の余地があると思われる。 ・災害発生時24時間常在の中学生を交えた訓練の検討も必要では・・・。

平成28年5月25日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 前川 博



記

事業の名称	防犯カメラ維持管理事業
事業実施前の状況	・辻が池公園に平成26年11月に防犯カメラ2台を設置。
事業実施後の状況	・平成28年3月10日に点検を実施した。東南出入り口の1台の不具合を確認。
事業の効果	・点検に依り不具合が改修された。
今後の課題等	・雷等の自然条件による破損（SDRカード）は目視等では確認出来ないので点検回数を増やす必要があると思われる。但し、費用（約40,000円/回）が掛かるので規約などを変更し簡易に点検出来るよう検討の要あり。

平成27年5月25日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名
代表者名

池田地域コミュニティ推進協議会
会長 前川 博



記

事業の名称	辻が池公園整備事業（ヒメイワダレソウ）
事業実施前の状況	多くのお子様が集まる公園ですが、土の為、土埃の飛散が多く、見た目もよくない。
事業実施後の状況	土埃の飛散が軽減され、景観もよくなった。
事業の効果	夏場は緑が広がり、そのうえで弁当を食べる家族を多く見かけるようになりました。また、草の上に寝転がる子どもたちもおり、今まで以上に雰囲気の良い公園になりました。
今後の課題等	基本的には強い草ではありますが冬場は枯れてしまいます。その時に土を掘るなどの行為があれば完全に根が失われる場合があるので注意書き等が必要になる可能性がある

平成27年5月25日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 前川 博



記

事業の名称	道路安全対策事業（グリーンベルト舗装事業）
事業実施前の状況	大型観光バスの駐車場が新設されバスの出入りや交通量が多い場所であるのかかわらず、歩道が無く大変危険であった。
事業実施後の状況	グリーンベルトを舗装する事により、ドライバーや歩行者に車歩道区別をしていただき、安心して通行して頂ける道路になりました。
事業の効果	ドライバー歩行者それぞれの通行区分が明確になり、安心して通行できるようになり事故の抑止となっています
今後の課題等	経年劣化による舗装のメンテナンスが必要である 舗装区分の延長も必要である

2016年05月16日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 前川 博



記

事業の名称	地域コミュニティ紙発行事業 (年3回)
事業実施前の状況	継続事業としている
事業実施後の状況	毎年の継続・新規事業の内容がひと目でわかり好評である 各町会の活動状況がわかり、参考になる。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なニュースソースを取り上げることによって地域の人々の関心を高めている。 ・地域コミュニティの活動状況がわかり、少しずつでも認知度があがってきている。
今後の課題等	いかに多くの市民の方にコミュニティを理解していただき自ら意見・提案をしてみたいと思ってもらえるように工夫したい。 大学生との意見交換や小中学生からの提案を取り上げるなどして地域に愛着をもった地域教育の一つとしていければと思う。

事業の評価書

池田市長 様

協議会名
代表者名

池田地域コミュニティ推進協議会
会 長 前川 博



記

事業の名称	事務所運営推進事業
事業実施前の状況	<ul style="list-style-type: none">・市立池田会館内に設置(平成23年度から)・専属女性事務員1名、男性会員3名(輪番駐在制)で運営。
事業実施後の状況	<ul style="list-style-type: none">・継続運営中。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none">・本協議会内が一元化され問題の発生が少なくなった。
今後の課題等	<ul style="list-style-type: none">・後継者さがし(輪番駐在者)・所在する池田会館の再編問題が浮上している。・情報の中継所(各部会への発信)としての機能の強化。

平成28年 5月25日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 前川 博

記

事業の名称	子育て支援事業
事業実施前の状況	創立6年目を迎え、スタッフも一丸となって運営に携わっている。継続事業として年間スケジュールに基づき、ミニお話会、年3回開催のイベントや11月の文化ラリーへの参加などを通じて地域の子育て支援が継続してされている。
事業実施後の状況	前年度に増して地域の子育て世代への浸透を図り、絵本の読み聞かせや、お話し会の実施により、スタッフと利用者間の交流が深まってきている。また、ホームページの充実により利用者及びスタッフが絵本館についての情報をすぐに得ることができ、より親しみを持てるようになった。
事業の効果	スタッフの細やかな工夫により、子育て世代への快適な空間を提供できている。ホームページでこまめに絵本館の様子を掲載することにより、利用者には絵本館をより身近なものに感じてもらえるようになり、また『クレハ』（地域情報誌）への掲載（添付資料参照）により、より広い地域にこの活動を知らせることができた。蔵書はさらに充実しており、貸出数の増加を見ても利用者の満足度を高められていると考えられる。
今後の課題等	開館日を増やす、あるいは開館時間をのばすなど、地域の人たちがさらに利用しやすい状況を作りたいと思うが、現状では、今以上の開館時間延長は難しい。現在の利用者は母親と未就学の子どもがほとんどであるが、それ以外の人たちがもっと出入りできるような工夫もしていきたい。

事業の評価書

池田市長 様

協議会名

池田地域コミュニティ推進協議会

代表者名

会長 前川 博



記

事業の名称	池田小学校植栽整備事業
事業実施前の状況	池田小学校の過年度における校舎耐震工事に伴い姫小松等の樹木が撤去された。この現状を受け卒業生を中心とした地域・学校関係者より校歌の歌詞に登場している「姫小松」植栽の要望が寄せられていた。
事業実施後の状況	池田小学校正門の正面に設置されている「登龍門」の右隣に寄贈品の「姫小松」を植栽した。
事業の効果	池田小学校の象徴として「登龍門」「姫小松」双方の存在感がより増大した。平成27年4月の入学式や平成28年3月の卒業式後における記念撮影場所としても利用され、多くの児童にとって印象深い場所となった。
今後の課題等	<ul style="list-style-type: none">・年間を通して葉刈り等のメンテナンスや児童による植栽場所付近の清掃を心がける。・校歌の歌詞にあるもう一つの樹木（若松）の植栽を働きかける。

平成27年5月25日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名
代表者名池田地域コミュニティ推進協議会
会長 前川 博

記

事業の名称	MTP フェスティバル実施事業
事業実施前の状況	日程調整などで少し難航した為、取り組み、準備等出遅れてしまった。開催チラシの枚数が少なく、市役所広報誌には折込みしたが、幼稚園・保育所・学校等、子ども達に配布できなかった。当日の保護者・子ども達・先生方の参加が少なかった。
事業実施後の状況	本年度は池田学園ジョイントコンサートと同日に開催し、模擬店では、単位 PTA 保護者間の交流ができました。子どものお手伝いは少し減りましたが、池田中学校生徒・関大生・地域の方々盛りに盛り上げて頂きました。平和の集いでは、地域コミュニティの PR 活動を報告することができました。
事業の効果	第8回目を迎え知名度は上がり、活動を応援して下さる方が増えた事で、このフェスティバルが、いけだ学園 MTP と地域との繋がりを大事にしてる活動であることを PR することができました。 平和の集いにおいては、たくさん子ども達の笑顔が見れて、たいへんうれしく思いました。
今後の課題等	本来なら池田中学校や駅前公園で行うのが望ましいですが、利便上、池田小学校での開催が多いため、負担をかけているのでいろんな面で考慮が必要であると考えられます。クラブや授業で忙しく、先生方や子どもたちの参加が少ない。保護者のお手伝いも少ないように思われるので、多くの方が参加していただけるよう開催時期等の検討が必要である。

平成28年5月25日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 前川 博



記

事業の名称	キッズランド支援事業
事業実施前の状況	・可搬式の「整理カゴ」が経年劣化し使用に耐えない状況。
事業実施後の状況	・屋外ボール整理カゴ（キャスター付）2台を購入。
事業の効果	・高齢化した見守り人の負担が軽減されると共に、こどもたちも安全に協働できている。
今後の課題等	・こどもたちに大切に使用するよう、使用後の整備等を通じて指導していく。

平成28年 5月25日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 前川 博



記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	・継続して実施している。
事業実施後の状況	・早朝まで雨が残る悪環境にもかかわらず例年通りの参加（約1200人）があった。
事業の効果	・地域のつながりの強化。 ・他地域の人達との交流。
今後の課題等	地域によってこどもの数が極端に減少しているのでグループ別け及び演目について検討の要あり。 分け